

【知事臨時記者会見】5月25日

知事／佐賀県高等学校体育連盟、佐賀県高等学校野球連盟、佐賀県、佐賀県教育委員会、この4者が一緒になって大会開催を決定。今日は歴史的な日になり感慨深い。

「SAGA2020 SSP杯(カップ) 佐賀県高等学校スポーツ大会」を開催することにした。

新型コロナウイルス対策は、段階を追って、慎重に解除してきた。5月14日に学校が再開し、子ども達も元気に登校していると聞いた。県内は5日から20日間、新たな感染者はいない。

今回、生徒達にエールを送りたいとの思いで開催を決定。部活動を一生懸命頑張ってきた高校生が成果を発表する場であり、新しい人生のスタートへの糧にしてほしい。こういう時代だからこそ、高校生を支援する大会にしたい。

新型コロナウイルスの第2波、第3波を気にかけて、今後もウイルスが発生することを前提に立ち向かい、新しい時代にチャレンジしなければならない。

大会の詳細は検討するが、なるべく有観客での開催を目指す。3密など対応できない競技は、オンライン配信するなど、新しい時代に合った工夫をしていく。

大会の概要について。

名称は「SAGA2020 SSP杯(カップ) 佐賀県高等学校スポーツ大会」。期間は6月13日～7月30日までの土日中心だが、競技により異なる。初日は女子ソフトボールやバスケット、バレー、テニスなど。剣道、カヌー、女子新体操は当日優勝確定の予定。総合開会式ができないので、女子ソフトの会場で趣旨や思いを伝えたい。主に土日で開催し、野球は7月11日～30日に、県営みどりの森とブルースタジアムの2会場を中心に1日3試合予定。準決勝、決勝は平日になるだろう。決勝戦は大会最終日となるので、金・銀のメダル授与をしたい。盛り上げて「よかった」と思ってもらえる閉会式にしたい。

スポーツの世界はいろいろある。マラソンの瀬古さんは、モスクワ五輪で金か銀かといわれていたが、大会が中止に。しかし、今も素晴らしい人生を歩んでいる。今の高校生にも、人生をよくする目標で頑張ってもらいたい。

7月はほかに、陸上が7月11、12日。ボクシングは、7月19日の予定。例年と全く違うので、会場も含め調整している。

主催は、佐賀県高等学校体育連盟・佐賀県高等学校野球連盟・佐賀県・佐賀県教育委員会の4者。いろんな皆さんにも応援していただく。

今日10時現在、29競技、30種目が参加となった。ヨットは3年生が1人だけであり、水泳の高飛び込みは会場工事中で県外での開催予定だったため含まないなど事情があるものもあるが、概ねラインナップできた。

大会の特徴として、選手とスポーツをこよなく大切にしたい。佐賀県らしい大会を実現したい。

この4者がスクラムを組んで開催決定するのは全国初だと思う。

できる限り例年に近い日程で開催したい。しかし、強制せず自主性を重んじ、生徒の影響を最小限にしたい。

例年は賞状だが、今回は団体優勝者にはSSP杯(カップ)、上位入賞者にはメダルを授与する。

大会ロゴはSSPと一緒に。「選手とスポーツを大切にしたい佐賀県だから これからの人生のチャレンジへエールを！ チーム佐賀のチカラで最高の大会を高校生に」

高校生の皆さんに「苦しい年でも、よかったところもあった」と思えるようにしたい。県民のご協力と、声援、支援が不可欠。報道の皆様も盛り上げてほしい。

司会／出席の3名に一言ずつお願いしたい。

中島佐賀県高体連会長／高校生のためにありがとうございます。いい大会にしたい。よろしくお願いします。

渡邊佐賀県高野連会長／夢舞台の甲子園大会が中止になり、球児達の悔しさ、悲しさ、虚しさは計り知れない。しかし、県ナンバーワンを決める大会で、成果・成長を見せる場としてほしい。

努力したからいい結果が出るとは限らないが、今回は試練に耐えるという経験が残る。今後の人生に活かしてほしい。生徒には一緒に頑張ろうと伝えたい。

教育長／高体連、高野連の賛同を得て、SSP杯(カップ)を開催でき嬉しい。高校生には集大成として、悔いのないよう全力でプレーしてほしい。

司会／記念写真の時間を取る。